



特集

1. 令和2年産
水稻栽培
 2. 小麦の収穫
 3. 飯米申込み
 4. 大豆播種
 5. 今後の予定
- ・ 6月下旬 後期除草
 - ・ 7月初旬 大豆播種
 - ・ 7月上旬～下旬
水稻無人ヘリ防除

ひとりごと

新型コロナ禍の影響で季節の移り変わりも様変わりした。イベントの中止も相次ぎ、楽しみにしていたライブにも行けないのが残念。夏だということにマスク着用での外出など、少し前まで考えも及ばなかった。スピード感の無い危機管理能力で、元来優秀と思われた官僚は責任回避に明け暮れ、政治家さんは何をしているのかな。しかし国民は優秀です。諸外国からは日本のパンデミックの状況は驚異に思われているようですが、国民性の中には清潔好きな生活習慣が根づいている。第2波にはくれぐれもご用心を。久

令和2年産水稻の栽培

4月25日より令和2年産環境保全型「みずかがみ」の田植に始まり、5月8日に直播「キヌヒカリ」が好天に恵まれ無事に終えることが出来た。現在は6月6日から早生種の「中干し」に移行している。順次、品種別に中干しを実施しており、無効分けつの発生を抑制して根張りが良くなり、登熟期の高温障害に負けなく倒伏しにくい稲になる様にしています。先日、各班2回目の畦畔・農道除草が終わり各圃場の点検した所、一部の圃場で畦畔沿いに株が枯れている現象が見受けられた。除草作業中での薬剤が罹ったと思われる、収量に大きく影響を与えます。風の吹いている状況での作業には、特に注意を払ってください。毎年同じように苦言を呈しているようでは困りものです。

小麦の収穫

令和2年産の小麦も順調に生育して、6月5日～7日の3日間で収穫・搬入作業を終えることができた。梅雨入り前の良い時期に、予定通り作業が完了出来てホットしている次第です。当地域の他地区では不作との情報を得ていたが、幸いにも肥田地区の場合、JA 東びわこより品質は良いとの連絡を受けています。収量は未集計なので未定ではあるが、例年並みは確保出来ているようです。

飯用米の申し込み状況

本年産の飯用米の申し込みを4月に締めた結果、昨年より90袋の増加となり、総数は1,294袋になりました。8月下旬より「みずかがみ」から順次頒布する予定ですから、申込み者の方には販売管理部門の担当者から連絡しますので、保管場所の確保等をお願い致します。尚、決済については10月末に届出口座からの引落としとさせていただきます。



大豆播種工程

麦刈取後、麦作跡に大豆の作付を実施いたします。圃場の弾丸暗渠は実施済みで、麦跡処理後に溝切り・石灰散布・種子消毒等を行います。梅雨の合間での作業となりますので、急な出役になりますがご協力をお願いいたします。

